

2022年7月1日発行

暑くなってきました。水分補給を適切に行って、熱中症対策に努めましょう。

最近の状況

経済産業省は、電力需給の逼迫が懸念される今夏は、毎週金曜日に全国10電力管内の1週間分の需給見通しを公表すると発表しました。経産省が定期的に1週間分の見通しを示すのは東日本大震災後の2011年以来ということです。テレビ報道では、「必要に応じてエアコンを利用し熱中症にならないように」と呼び掛けています。

6月準定例会を開催しました

2022年6月16日（木）に、Zoomによる準定例会を開催。今回は、4月23日（土）24日（日）に行われたアジア太平洋水サミットについて取り上げ、参加者は7名でした。まず、サミットの事務方を取り仕切ったJWFの朝山由美子さんから、全体的な説明。続いて、吉村和就さんより、日本水フォーラム理事として丸2日間参加した印象・感想を説明。詳細は、水道公論8月号に掲載されます。

水道公論7月号の内容

「海外水ビジネスの要点」シリーズでは「気候変動問題 - カーボンプライシングについて（UNO アナリシス 代表 宇野 安）」、コラム「海外ビジネスの眼」では「時の流れ-環境会計-」を掲載。

定例会・幹事会の開催について

- ZOOM幹事会は、7月15日（金）20時から。7月、8月定例会の開催内容の確認や今後の予定についての説明・相談等を予定。工藤氏から（pppの基本知識①pppのフレームワーク②運営権・コンセッションとは③経協インフラ戦略会議でのpppの取扱④新しい資本主義有識者会議でのpppの取扱）を説明
- 7月21日（木）（12時半から14時半）は、水道会館8階第4会議室で定例会（対面、ZOOM併用）。講師は山口岳夫さん。テーマは、中小分散型上下水道事業。



百日草

8月の定例会について

- 8月の定例会は、8月17日（水）12時半から14時半に水道会館8階第5会議室（第4会議室隣）で開催。研究会メンバーでもある安間匡明氏（PwCサステナビリティ合同会社執行役員）から「官民連携（PPP）における有限責任性に関する研究」についての説明を伺います。同論文により安間氏は本年、東京大学工学系（社会基盤学および建築）から博士（工学）の学位を授与されています。
- この論文は、PFI/PPPの契約設計に関する研究であり、今後に向けて上下水道界で注目を集めている民間委託や公民連携にも深く関係するものと思われますので、外部（10名以内）にもご案内をさせていただくことにしました。
- 水道公論10月号では、安間氏が公論交差点に8月定例会の内容を紹介、工藤氏が要点を探るにpppの基本知識（仮題）を執筆。

水道公論コラム原稿を募集しています

字数は1500から1600字、「である調」、ペンネーム（実名は出さず）で原稿を募集しています。連絡は山村まで。